RisKmaでできること

RisKma 水災害リスクマッピングシステム

水防災情報の課題

- ●水災害情報が多くて散乱
- ●アプリやシステムが乱立
- ●災害時の情報収集・状況把握が大変

RisKmaのコンセプト

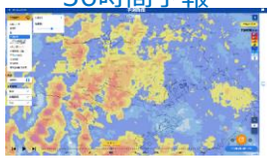
- 様々な水災害リスク情報を一元化
- 観測及び水理解析に基づく予測で防災行動を支援
- 水災害リスクの可視化
- リアルタイムの情報共有
- 災害情報のデータベース化

RisKmaの仕組み

水災害に必要な各種情報を標準機能として利用可能

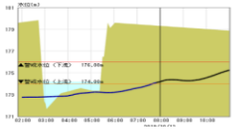
リアルタイム水災害情報

レーダー雨量36時間予報



指定河川洪水予報

河川水位・ダム諸量

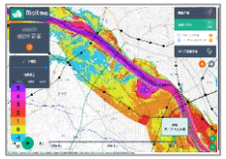


洪水キキクル・土砂キキクル

気象警報・注意報

内水リスクマップ（内水氾濫）

バーチャル水面マップ（河川氾濫・高潮）



水災害リスク・地形立地特性

浸水想定区域図

内水リスクマップ(L2)

お客様のニーズに応える様々な追加オプションを準備

水位・浸水の監視

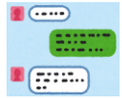
水位計・浸水センサー

監視カメラ等のIot機器

災害時の情報収集

アラートメール

防災チャット



災害時の予測情報

AI予測

洪水予測

施設の水害リスク

道路冠水リスクマップ

不動産や店舗の水害リスクマップ

RisKmaでできること

- ・気象や洪水に関する状況把握
- ・水防や避難に関する適切な判断を支援

- ・観測に基づいた詳細な水災害状況の即座な把握
- ・水害タイムラインや水害BCPへの活用

- ・災害発生時および事前の確実な情報伝達
- ・各種対策の実施や安全確保の支援

- ・予測情報を踏まえた、いち早い防災行動の判断を支援
- ・被害軽減のための事前準備や対策行動を支援

- ・工場や店舗の浸水リスクの把握
- ・道路冠水リスクを踏まえた物流等の移動経路の効率化
- ・不動産の水害対策による物件価値の向上への活用

表示する機能や情報はカスタマイズ可能

ニーズに応じた組合せ

- 気象や河川の状況を把握したい
- 場所ごとのリスクを把握したい
- 観測による被災状況を把握したい
- 今後の水害の予測を把握したい

主要機能を一覧による全体把握レイアウトの例

監視カメラによる水害監視レイアウトの例